

平成26年2月24日

守谷市議会議長 松丸 修久 様

陳 情 者

住 所 茨城県守谷市けやき台2-11-3

氏 名 全日本年金者組合 守谷支部

支部長 丸町 芳夫

「つくばエクスプレス運賃の他交通機関並みの値下げ」を求める陳情書

【陳情の趣旨】

つくばエクスプレス開通で守谷市民をはじめ沿線の住民は、都心や沿線への交通の便利さを痛感しております。

しかし、利用者は、交通費が高く、便利さを享受するにはいつも財布の中身と相談しながら回数を自ら制限し、利用しているのが実情です。都心や沿線への正規雇用者は交通費が全額支給されていますが、非正規やパート労働者や一般の乗客は1駅乗るだけでも大変な負担になっています。また、中高生や大学生の定期にしても他の私鉄やJRに比べても相当の金額になっています。特に、高齢者で病院通いしなければならない方や元気に都心や近隣の名所等を訪ねて歩きたいと思っている方にとっては大変な負担になっていることは、市民の間で多く聞かれることです。

仕事をしているときにできなかったことを退職後にしようと考えていたのに、いざ退職してつくばエクスプレスを利用してみて、あまりにも高い運賃に自ら制限することになっています。共済年金や厚生年金で生活している方でも、そういう声をたくさん聴きます。ましてや、国民年金やまだ年金支給に至っていない方では、大変なことです。

つくばエクスプレスの運賃は、別表（参考資料参照）にあるように大体同じ距離数の他の私鉄やJRと比べてもおおよそ2倍の運賃です。ましてや、開業して4年で黒字になり、沿線自治体で株を購入して貢献している訳ですから市民の声として議会在決議して、首都圏新都市鉄道に「他の交通機関と同等近くの運賃にしてください」という要請をしてほしいと思います。

運賃を下げると、また赤字になるということはないと思います。なぜなら、利用者は今以上に増えるでしょう。首都の生活圏として沿線の住宅も増え、主婦や退職者の利用が大幅に増えることは容易に考えられることです。

以上の点から、次の項目を陳情いたします。

【陳情の項目】

次のことを決議して，実行していただきたい。

1. 「つくばエクスプレスの運賃を他交通機関並みに値下げしてほしい」ということを市議会で決議し，首都圏新都市鉄道に強く要請すること。
2. 首都圏新都市鉄道から明確な回答を受けること。
3. つくばエクスプレス沿線の自治体の議会にも働きかけること。

上記のとおり陳情いたします。